

動画解説まとめ 06 / AI活用

Claudeで動画編集を試す・仕事に生かす

Claude Fable 5.1による動画編集の実例を整理。身近な作業で性能を確かめる方法から、受託や実写の商品レビューに生かす考え方でまとめました。

この動画の要点

あべさんがClaude Fable 5.1に動画編集を任せた実例をもとに、AIを仕事へ取り入れる考え方を解説した回です。まず自分が分かる仕事で、できることと難しいことを確かめ、その結果を自分の発信や受託に生かします。具体案は、実際に使った商品の撮影を人間が担当し、編集をAIに任せるレビュー動画。後半では文字起こし、表記修正、カット、字幕、仕上がり確認という編集工程も紹介しています。

01 自分が普段行う作業をAIに頼み、仕上りを自分の経験で判断する。

02 できるようになった作業は、自分の事業・発信に使う方法と、他人から受託する方法に分けて考える。

03 動画制作では、視聴者の悩みや既存素材を渡すことで依頼の前提をそろえる。

04 商品レビューは実物の撮影と使用感を人間が担当し、編集をAIに任せる案が紹介された。

05 AI編集でも発言の意味、固有名詞、字幕の見やすさを確認する工程がある。

資料の使い方

動画の要点を読み返し、紹介した手順を実践するときにお使いください。本文の時刻を押すと、元動画の該当箇所を開けます。

元動画：Claude Fable 5.1の使い方と稼ぎ方

<https://www.youtube.com/watch?v=pUgqyuGKdSU>

新しいAIは、身近な仕事で試す

動画の該当箇所 13:17 / タップして開く

動画では、初心者が最初にとすることとして、自分の仕事や日常で負担になっている作業をAIに頼んでみる方法が示されています。あべさんが動画編集を試したのは、自分がYouTuberで、編集の良し悪しを判断しやすいからです。詳しい分野なら、以前は難しかったことができるようになったのか、まだ人の修正が必要なのかを見つけやすくなります。

モデル名や更新幅だけで評価するのではなく、実際の作業を渡して確かめるのがこの回の出発点です。撮影時には編集結果が未完成で、後半では完成した初稿をあべさんが確認し、少し修正を頼んだことも話しています。最初の指示から完成まで、すべての品質判断が不要になったという事例ではありません。

- ・ 試す対象は、普段の仕事、取り組んでいる副業、興味があり内容を理解できる作業。
- ・ 判断するのは『できるか』だけでなく、仕上がりが自分の用途に合うか。
- ・ 動画の編集結果を確認した場面は33:39付近。初稿の一部に修正を依頼している。

制作の前提として、視聴者情報と素材を渡す

動画の該当箇所 11:27 / タップして開く

動画内のAIによる解説パートは、あべさんの視聴者が気になる点を重点的に伝える、という依頼で作られたと説明されています。ただし、短い依頼文だけで視聴者像が伝わったわけではありません。あべさんはチャンネルに寄せられた多数のコメントをあらかじめ読み込ませ、視聴者のつまづき方を把握させていました。

また、パソコン内にある自身のイラストなどを素材として使わせています。指示文だけをまねするより、『誰に見せるか』『何を知りたい人か』『どの素材を使うか』という制作の前提がそろっていた点を押さえることが大切です。動画では、解説の構成から台本、図、音声を含む映像の組み立てまで作った例として紹介されています。

- ・ 視聴者が知りたいことは、過去のコメントから把握させていた。
- ・ 自身のイラストなど、既存の制作素材を使わせていた。
- ・ 字幕に出ていない完全な依頼文や設定を、この資料で再現したものではない。

仕事への生かし方は、自分で使う・受託するの2通り

動画の該当箇所 15:19 / タップして開く

AIのできる作業を見つけた後の選択肢として、動画では2つの方向を挙げています。1つ目は、その能力を使って自分の発信や事業を始める方法。あべさんの場合は、動画を作れるなら商品紹介にも使えると考え、YouTubeショッピングにつなげています。具体案が浮かばない場合は、新しくできるようになった作業をAIへ伝え、それを使った仕事の案を相談する流れです。

2つ目は、その作業を必要としている人から仕事を受ける方法です。自分が多少詳しい分野の案件を、クラウドワークスやランサーズなどで探す例が挙げられています。LINEスタンプ制作の代行や記事執筆など、小さい仕事でも実際に試すことが勧められています。一方で、AI利用を禁止されている仕事に隠れてAIを使うことはしない、と明確に話しています。

- ・ 自分で使う：動画制作の能力を、自分の商品紹介や情報発信に生かす。
- ・ 受託する：依頼者が必要としている作業を探し、自分が対応できる範囲と照らす。
- ・ 案件では依頼条件を守り、AI利用が禁止されている場合に無断で使わない。

商品レビューは、人間の体験とAI編集を組み合わせる

動画の該当箇所 24:18 / タップして開く

この回の具体的な副業案は、商品を紹介する短い動画を作り、YouTubeショッピングの機能につなげることです。あべさんは説明会で聞いた事例として、短い動画で複数の商品をテンポよく紹介する形式を紹介しています。ただし、そのままネットの情報だけを集めた量産的な動画にすると、独自性や収益化審査の面で問題があるとも指摘しています。

そこで勧めているのが、実際に商品を買って撮影し、使った感想を自分で話して、その編集をAIに任せる方法です。顔出しをせず縦向きで商品を撮った実写動画も例として示されています。視聴者に渡す情報の核は本人の体験で、AIは見やすく仕上げる役割を担います。実写なら必ず収益化できる、商品タグを付ければ必ず売れる、という保証ではありません。

- ・ ネットの情報を並べるだけでなく、実際に使って分かったことを撮影して話す。
- ・ 撮影や使用感の説明は人間が担当し、カットや字幕などをAIに任せる。
- ・ 利用条件や報酬条件の説明は動画時点のもの。実際の利用時はYouTube側の現行条件と照らす。

編集の裏側：文字起こしから仕上がり確認まで

動画の該当箇所 30:21 / タップして開く

後半には、この動画をどう編集したかという工程の説明があります。最初に音声を文字起こしして時間情報を付け、台本と照らし合わせて固有名詞や数字の表記を直します。その後、長い間を短くし、言い直しは後のテイクを使い、字幕を付けていきます。

編集で最も重視したルールは、発言の意味を変えないことでした。完成前には、動画から一定間隔で取り出した画像を一覧にし、字幕の不具合や顔に重なる部品がないかを確認したと説明されています。派手な演出の前に、内容の正確さと読みやすさを確認するという順番は、AIに制作を依頼するときにも参考になります。

- ・ 音声を文字起こしし、発言と時間を対応させる。
- ・ 台本で固有名詞・数値を確認し、長い間や言い直しを整理する。
- ・ 字幕を付け、画面の重なりや見づらさを点検して書き出す。

最後に必要になるのは、誰に何を伝えるか

動画の該当箇所 29:01 / タップして開く

あべさんは、買ったものを何となく投稿するだけではなく、チャンネルのコンセプトが必要だと話しています。自分のチャンネルなら『AIを使った副業のやり方を教える』という軸があり、商品紹介を始める場合にも、どんな人が何を期待して見る場所なのかを定める考え方です。

終盤では、編集を任せやすくなるほど、発信者のテーマや自分の特徴が重要になると振り返っています。AIで作れる範囲を広げることと、自分が提供できる体験・視点を見つけることを、組み合わせて考える回です。

- ・ 商品を並べる前に、自分に合ったジャンルやテーマを考える。
- ・ 制作しやすくなった分、本人の経験や特徴が伝わる内容を意識する。

実践の進め方

01 普段の作業を1つAIに頼む

自分が内容を判断できる仕事を選び、どこまでできるか試す。動画ではあべさん自身の動画編集を使って確かめている。

動画 13:17

02 できた作業の使い道を考える

自分の発信に使うか、他人の仕事を受けるかを検討する。案がなければ、できる作業を伝えてAIに相談する。

動画 15:19

03 商品レビューなら実物を撮る

実際に使った商品を撮影し、使用感を自分の言葉で話す。撮った映像の編集をAIに任せる。

動画 24:53

04 字幕と仕上がりを確認する

固有名詞・数字・発言の意味、字幕や画面部品の重なりを確認する。必要な修正を伝える。

動画 30:21

AIへの相談例

編集部が作成した活用例です。動画内の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

【編集部による活用例・動画の逐語プロンプトではありません】この資料を根拠に、記載外の補足は区別し、私の状況を質問してから進めるようにしてください。まず、普段している仕事、試したい作業、使える素材、発信したい相手を質問してください。その回答から、動画内の『自分が判断できる作業で試す』という方針に沿って、最初の試作を1つ選んでください。商品レビューを選ぶ場合は、私が実際に使った体験とAIが担当する編集を分け、資料にある確認項目で仕上がりを点検してください。資料にない設定・料金・利用条件を事実として補わず、確認が必要な点として示してください。

資料について

- ・ YouTube自動字幕をもとに編集した要約です。操作画面の全項目や、字幕に現れない依頼文は収録していません。
- ・ モデルの性能、料金、利用プラン、YouTubeショッピングの条件は動画時点の紹介です。現在の仕様を検証した比較資料ではありません。
- ・ 制作時間・成果・収益に関する話は、登壇者の実例や見解です。同じ成果や収益化審査の通過を保証するものではありません。